



対策の順序が大事

1. みんなで勉強
2. 守れる集落・守れる農地づくり
3. 柵で守る、追い払う
4. 捕獲



《鳥獣被害対策に関するお問い合わせ》

お住まいの市町村鳥獣被害対策の担当課もしくは

県央広域本部 ● 県央広域本部農業普及・振興課(熊本市) TEL.096-273-9672
 ● 宇城地域振興局農業普及・振興課 TEL.0964-32-2119
 ● 上益城地域振興局農業普及・振興課 TEL.096-282-0305

県北広域本部 ● 県北広域本部農業普及・振興課(菊池地域) TEL.0968-25-4273
 ● 玉名地域振興局農業普及・振興課 TEL.0968-74-2192
 ● 鹿本地域振興局農業普及・振興課 TEL.0968-44-2120
 ● 阿蘇地域振興局農業普及・振興課 TEL.0967-22-5212

県南広域本部 ● 県南広域本部農業普及・振興課(八代地域) TEL.0965-33-3418
 ● 芦北地域振興局農業普及・振興課 TEL.0966-82-2071
 ● 球磨地域振興局農業普及・振興課 TEL.0966-24-4117

天草広域本部 ● 天草広域本部農業普及・振興課 TEL.0969-22-4264

みんなでおぼろ 鳥獣被害対策

熊本県農林水産部農村振興局むらづくり課

〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号 TEL.096-333-2378(直通)

〈監修〉くまもと☆農家ハンター

出典元：野生鳥獣被害防止マニュアル改訂版 鳥類編(株)農文協プロダクション
 江口 祐輔／被害の原因は「間違った知識」にあった!本当に正しい鳥獣対策Q&A (株)誠文堂新光社
 最新の動物行動学に基づいた 動物による農作物被害の総合対策 (株)誠文堂新光社
 イノシシはなぜ田畑に害をあたえるの? (社)農山漁村文化協会
 井上 雅央／人はサルと共存できるの?できないの? (社)農山漁村文化協会
 杉田 昭栄／人はなぜカラスとともだちになれないの? (社)農山漁村文化協会
 古谷 益郎／なぜハクビシン・アライグマは急にふえたの? (社)農山漁村文化協会
 井上 雅央・金森 弘樹／かわいい目のシカが害獣ってどうして? (社)農山漁村文化協会

複製：転載する場合は必ず熊本県の許諾を得てください。

2021年3月発行

みんなでおぼろ

鳥獣被害対策

ちょう じゅう ひ がい たい さく



えづけSTOP!

地域ぐるみの「環境づくり」

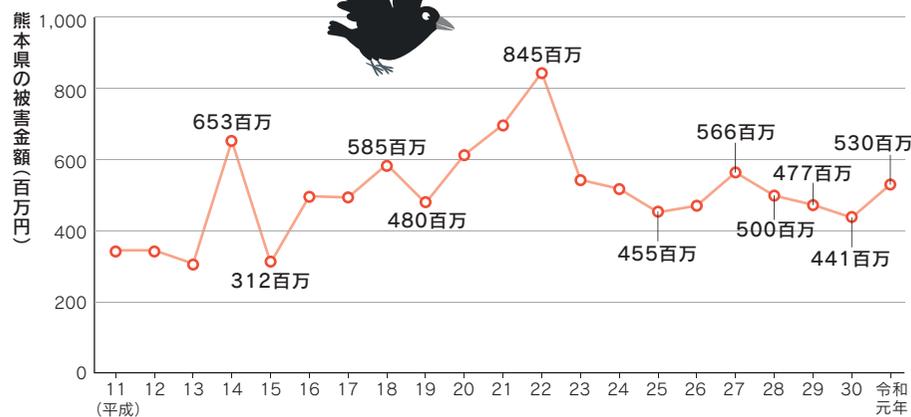
熊本県農林水産部農村振興局むらづくり課

鳥獣被害って何？



イノシシやシカなどによる農作物の被害が
広がりを見せ、大きな社会問題となっています。

被害額の推移



目次

どうして鳥獣被害が増えているの？ — 2

身近にできる鳥獣対策 — 5

みんなで勉強 — 6

守れる集落、守れる農地に環境整備！ — 8

追い払う・柵で守る — 9

「柵を張れば安心」はまちがい！ — 10

捕獲 — 11

取り組み紹介 — 12

鳥獣情報 — 14

イノシシ — 15

ニホンジカ — 16

ニホンザル — 17

タヌキ・アナグマ・アライグマ — 18

カラス・ヒヨドリ・ヒドリカモ — 20

熊本県内の農作物被害額は

年間約5億円にもなっており、高い水準になっています。

地域内で被害が増加する要因として、

- イノシシなどの人に対する警戒心の低下(えづけが進んでいること)
- 使っていない田畑の増加による農地付近への出没
- 捕獲者(狩猟の免許を持っている人)の活動を上回る生息数の増加や生息区域の拡大

などがあり、簡単に解決できる問題ではありません。イノシシなどによる被害は、金銭的な被害以上に農家さんのやる気を低下させ、耕作放棄地(耕作されなくなった使っていない田畑)がさらに増加するなど、深刻な影響を与えます。ヒトに被害を及ぼすこともあるため、対策を欠かすことができません。

●被害が多い作物



●被害をもたらす動物たち



日ごろの心がけと正しい知識によって少しでも被害を防ぐために、誰でも今日からできる鳥獣被害対策を身に付けていきましょう。

ちようじゆう ひ がい どうして鳥獣被害が 増えているの？



鳥獣被害が増えた場合、必ず地域内に原因があります。
被害が増えるような状況ちいきを地域内に作ってしまっていたり、
イノシシたちが人に慣れることを後押しあとおしてしまっていることなどです。
まずは鳥獣被害発生の原因について勉強してみましょう。

えづけしていませんか？

被害が起きるのは地域に「**エサとひそみ場がある**」からです。
しかも、被害が広がっているのは**無意識**に
「**エサを与えている**」「**ひそみ場を提供している**」からなのです。



※2番穂とは稲刈りが済んだ株から出ている稲のこと

人に慣れさせていませんか？

エサとなるものが地域内に放置されている状況で、イノシシたちを見かけても、追い払ったりしなければ、イノシシたちにエサを準備してえづけをしたこととなります。

事例
1

集落に行ったが危ない目に
あ
遭わずにエサが食べられた。
もう一度行ったが、また危
ない目に遭わずにエサが食
べられた。

「ここはいつ行っても
エサが食べられる場所」
と学習します

全然怖くないや
ヒトって、

事例
2

ヒトに見つかったが、簡単に
逃げる事ができた。
もう一度行った時もヒトに
見つかったが、簡単に逃げ
られた。

「ヒトに見つかったも
大丈夫、ヒトは怖くない」
と学習します



～集落のえづけ・人慣れ度チェックリスト～

えづけ度

- お墓はかのお供え物そな・ゴミ捨て場すの生ゴミしゆうを回収していない。
- 9月以降に草刈りかをして、1月から2月にかけて、青草がおいしげっている。
- 収穫しゆうかくしないままの果実(ビワ、スモモ、クリ、カキ、ミカンなど)を放置している。
- 野菜くずや生ゴミなどを田んぼや畑に放置している。
- 2番穂や、収穫後の落ちたイネや麦などが残っている。
- タケノコを収穫せずに、そのまま放置している。

ひとつでも該当項目があれば、イノシシなどに狙われやすい「エサ場」です。

ひそみ場

- 使っていない田畑に、雑草がおいしげっている。
- 見通しの悪い雑木林そうぎや竹林がある。
- イノシシなどを見かけても誰も追い払わない。

ひとつでも該当項目があれば、イノシシなどが住みやすい「ひそみ場」です。

○ 人間本位に考えていませんか？

人間本位の考えはイノシシたちには通用しません。
イノシシたちはそんな人間の考えを敏感に感じ取って行動します。

人間はこう考える

イノシシたちの気持ちになれば…

ハンターなどの
せんもん
専門家に
任せれば安心



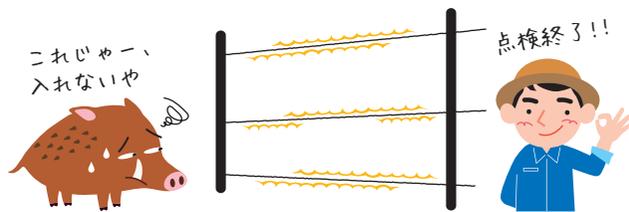
イノシシたちは、「ヒトは見ているだけ。追い払われないから全然怖くない!」と思っています。ハンター任せにせず、住民も当事者になりましょう。

こうさく
耕作する
農地さえ守れば
大丈夫



イノシシたちは「怒られないから大丈夫!」と思い、耕作放棄地にひそみます。耕作放棄地も見回りをしたり、草刈りをし、イノシシたちを寄せつけないようにしましょう。

さく
柵を設置すれば
大丈夫



イノシシたちは1度柵を突破すると次からは柵をめがけてやってくるようになります。常に柵を突破されないようにしましょう。



みんなで勉強

守れる集落、守れる農地に環境整備!

追い払う・柵で守る

「柵を張れば安心」はまちがいがい!

捕獲

取り組み紹介

1 みんなで勉強

たいさく
鳥獣被害対策は、
身近なことからはじめることができます。

そのステップは



まずはみんなで勉強して、正しい知識を身に付けよう。

○ 集落にある鳥獣のエサには2種類あります

- ①食べられることで被害が生じ、ヒトが困るエサ
- ②いくら食べてもヒトが困らないエサ



私達はい①にばかり意識を向けてしまいがちですが、イノシシたちにとっては違いはありません。どちらを食べられてもえづけをしていることと同じです。

②を食べているからと安心していたら、イノシシたちもヒトに怒られないからと安心して集落に近づくことが増え、被害拡大につながります。イノシシたちが人里近くに現れるようになった要因の一つには、こうした食べ物や水に加えて、隠れることができる茂みなど**快適な環境が増えたことにあります。**

鳥獣被害対策で最も重要なことは、
集落ぐるみでえづけを止めることです。



○ 被害をもたらす動物たちのことを知る

被害を防止するためには、イノシシなどの生態を知ることが重要です。まずはみんなで勉強し、正しい知識を身に付けましょう。

(詳しくはP14～P21)



| あしあと足跡 | イノシシ | シカ | アナグマ | タヌキ |
|--------|------------------------|-------------------|---------------|----------------|
| | | | | |
| | 4本指。 前2本のみ跡が残ることが多い | 4本指。 跡が残るのは前2本 | 指が短く、 爪が長い | 指4本で 犬に似ている |

注意 足跡だけでは特定できないことが多いので、他の痕跡とあわせて総合的に判断しましょう。

| ふん糞 | ため糞しない | ため糞する | | |
|-----|--------------------------------------|----------------------------|---------------------------|---------|
| | イノシシ | シカ | アナグマ | タヌキ |
| | ほう 棒状 つぶ 粒状のものが ひとつかたまりに | つぶ 粒状 たわらがた 俵型が多い | きほ ため糞は小規模 テカテカしている | 糞粒の山になる |

注意 イラストで示した糞はあくまで典型例です。エサや乾燥状態によって形状は異なってきます。

2 守れる集落、守れる農地に環境整備!

◎ 被害を受けにくい農作物を利用する

家からはなれていて維持管理がむずかしい場所や農地には、イノシシたちが好まない農作物を栽培することも効果的です。

〈イノシシが好まない農作物〉

- ・タカノツメ ・コンニャク ・ゴボウ
- ・ピーマン ・にんにく など



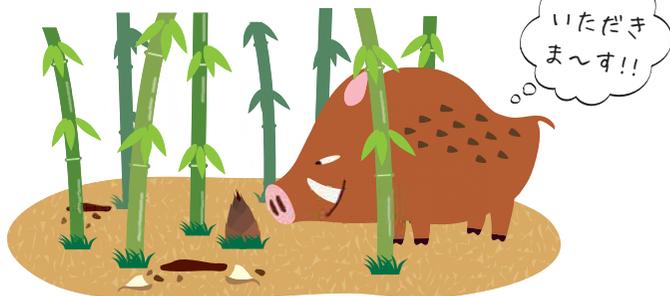
この味はキライ!!

あなたの周りにイノシシなどのエサとなりそうなものが無いかどうか、チェックしてみましょう。

～環境整備チェックリスト～

- 収穫しない野菜や果実、間引いた株は、農地に残したままにせず、ネットで囲んだり埋めるなど適切に処理をしている。
- 野菜くずや家庭から出た生ごみは庭先に放置しないで、コンポスト*等を利用している。
- タケノコは竹やぶを管理してできるだけ残さず収穫している。
- カキやクリなど、誰も管理していない放任果樹は、地域で合意の上伐採している。
- 果物、ジュース、菓子などのお墓のお供え物は、お参りが終わったら持ち帰っている。
- 2番穂や、収穫後の落ちたイネや麦などを放置せずに回収している。
- 使っていない田畑の雑草を除去し、ひそみ場を減らしている。

*コンポストとは生ごみ等を分解してたい肥にする処理方法のこと。



3 追い払う・柵で守る

◎ 追い払う

とにかく人慣れをさせない、「人は怖い」「人は敵だ」と思わせることが重要です。根気よく地域の連係プレーで追い払いましょう。大きな音など自分のできる工夫をしましょう。



※イノシシに出会った時は、ゆっくり後退し離れ、静かに立ち去るなど、イノシシを刺激しないようにしましょう(イノシシが興奮すると危険です)

◎ 柵で守る

イノシシたちによる柵破りの基本は、とびこえる、押し倒すでもなく、「すきまをくり抜ける」ことです。イノシシたちの特徴にあわせて柵を設置することが重要です。そして一度設置した柵はきちんとチェックして、効果を持続させていくことが大切です。



《電気柵でのよくあるかんちがい》

- ・イノシシは夜行性だから昼間は切っても大丈夫。
→ 夜行性ではありません。昼間も行動します。
- ・昼間は子どもたちが通るから電流を流さない。
→ イノシシたちが柵に慣れ、逆効果になることがありますので、24時間通電させましょう。

※通電していることを知らせる表示板も忘れず設置しましょう

「柵を張れば安心」はまちがい!

◎ 集落ぐるみで徹底的に「嫌がらせ」をしましょう

収穫しない野菜、果実、生ゴミ、お供え物などの放置はえづけと同じです。すぐに回収するなどの処置をしましょう。また、ひそみ場をなくすなど、イノシシが嫌がる環境をつくるのが対策の第一歩です。自分の田畑は自分で守ると同時に、集落で歩調を合わせて田畑を守ることによって、イノシシはさらに集落へ近づきにくくなります。



「電気柵」を張ったあとも

◎ 手入れをすることを心掛けましょう

電気柵で囲うのは重要な対策です。しかし安心はできません。わずかな隙間でもあればおいしい「エサ」を見つけて侵入してきます。電線に雑草が接触していると効果が低くなってしまいますので、雑草の手入れを怠らないようにしましょう。イノシシは鼻先以外、電気ショックを受けないことを忘れずに。



4 ほ かく 捕 獲

◎ 被害が減らない場合には、捕獲について検討しましょう

捕獲をする際は、実際に被害を引き起こしているイノシシを捕獲しないと被害は減りません。



〈捕獲の際の留意点〉

「ウリ坊だけ獲れた」「親イノシシは逃がした」ということになると、その親イノシシはワナへの警戒心が強くなり、ワナにかからなくなってしまいます。

注意 「野生鳥獣は許可なく捕まえることはできません」

野生の鳥獣は「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」で保護されており、原則として捕獲が禁止されています。ただし、農林水産物への被害防止の目的(有害鳥獣捕獲)等、許可を受けた場合は捕獲することができます。捕獲についての詳細は、各広域本部(地域振興局)やお住いの市町村窓口にご相談ください。



※慣れていない人だけでイノシシなどを探索すると非常に危険ですのでやめましょう。

5 取り組み紹介 (熊本県鳥獣被害対策マイスター集落)

鳥獣被害を止めて

「観光たけのこ園」に発展!

浦方集落

事例紹介-①

山鹿市鹿北町

うらがた
浦方集落



《主な対策》

手つかずだった竹林の整備を行ったことで、イノシシの侵入を防止し、現在では、観光タケノコ園に生まれ変わりました。

《対策の効果》

平成27年度にはイノシシ被害額が約170万円を超えていましたが、「えづけSTOP!対策」を実践した結果、平成30年度には約30万円程度まで被害を縮小できています。

「えづけSTOP!対策」と「捕獲」で被害の大幅削減に!

事例紹介-②

熊本県玉名市天水町

かみうそ
上有所集落

上有所集落



《主な対策》

平成28年度から熊本県の「えづけSTOP!対策」に集落ぐるみで取り組んでいます。さらにはICTを活用した大型囲いわなを導入し、効果的な捕獲にも取り組んでいます。

《対策の効果》

取り組み1年目からイノシシ被害を大幅に減少させることに成功しました。樹園地の整備を行ったことで農作業負担の軽減にもつながりました。



農地と柵、柵とひそみ場の距離をとることで防除効果が高まります。



維持しやすい守り方を学ぶ適切な設置ラインやダンボールを使った低コストの電気柵を設置することで、維持管理しやすくなります。



電気柵24時間通電が鉄則24時間通電、果樹の枝の伐採、防草シートの設置により被害防除効果を高める。

鳥獣被害対策を軸に地域づくりを促進!

事例紹介-③

熊本県球磨郡あさぎり町 松尾集落



《主な対策》

専門家からの講演や集落点検を通じて、放任果樹の伐採など集落環境の改善の重要性を学習しました。防護柵の設置など、集落に住む一人ひとりが主体的に鳥獣被害対策に取り組み始めたことで、被害ゼロを実現しました。

《対策の効果》

住民だけではなく、大学生などのボランティアや行政と連携し、外部との交流も実施しました。その結果、被害対策だけでなく、鳥獣被害対策を軸とした地域づくりに発展しています。



活動拠点「さくら庵」

熊本県立大学の学生たちと平成21年3月に発足し、集落に住む人々のコミュニケーションの場として活用し、愛されています。

「えづけSTOP!対策」で4年連続被害0に!

事例紹介-④

天草市楠浦町 方原集落

方原集落

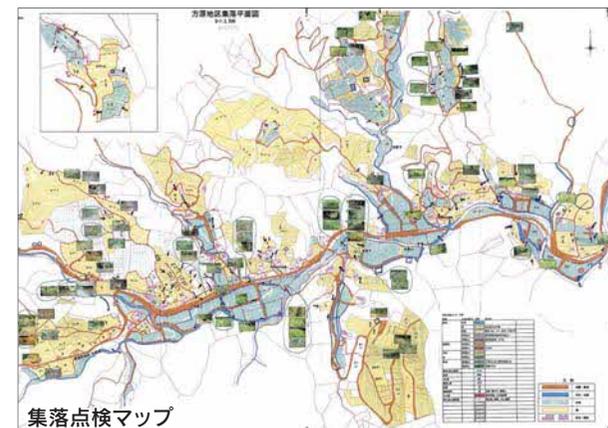


《主な対策》

イノシシの出没場所を記した集落点検マップを作成しました。想像していたイノシシの出没場所と、実際の出没場所が全く違うことがわかり、今でも防除や環境整備の際に活用しています。

《対策の効果》

現在では被害額を4年連続でゼロにすることができています。



集落点検マップ



イノシシ

偶蹄類(ウシ目)イノシシ科

【体 長】 90～180cm

【体 重】 50～150kg

【食 性】 果実、クズ、ヤマイモ、
タケノコ、地下茎、
ドングリ、カエル、昆虫

【繁 殖】 1頭あたり、年に4～6頭出産。
9月から11月に繁殖するため、
この時期は特にえづけSTOP!対策が効果的です。



※春に出産できなかった場合は秋に産することがあります。



!! イノシシの生態・習性・対策

イノシシの体で電流を通すのは鼻だけです。



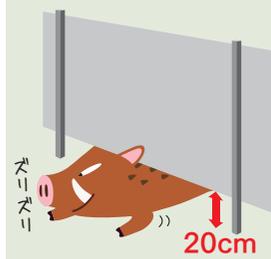
体は剛毛で、電気や有刺鉄線が当たっても平気です。



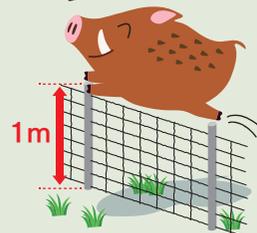
鼻先で70kgの物を持ち上げる力があります。



20cmの高さがあればくぐることができます。



イノシシのジャンプ力は助走なしで1mを飛び越えます。
これぐらい軽い軽い!!



作物をイノシシから見えないようにすることで被害を防ぎましょう。



— イノシシ

— ニホンジカ

— ニホンザル

— タヌキ・アナグマ・アライグマ

— カラス・ヒヨドリ・ヒドリカモ

ニホンジカ

鯨偶蹄目シカ科

- 【体 長】 オス90~190cm・メス90~150cm
- 【体 重】 オス50~130kg・メス25~80kg
- 【食 性】 草食性。牧草、野草、ドングリ、木の葉
- 【繁 殖】 雌の妊娠期間は7ヵ月程で、5~7月に1頭出産する。1年半で性成熟する。栄養状態の良い雌は毎年出産することもできる。



ニホンジカの足跡 ニホンジカの糞



ニホンジカの生態・習性・対策

フェンスやネットの下に潜り込めます。

これぐらいなんでもないや

口の届く高さの草木を食べ尽くし、ディアライン※をつくります。

ディアライン

※ディアラインとは、鹿が届く範囲の草木が食べられ、遠くまで見通しがよくなることです。

木の樹皮を食べ、木そのものを枯らしてしまいます。

モグモグ うまいなー！

慎重で臆病な性格のため、ヒトになれさせないことが大切です。

ヒトはいないかな？

雑草を食べに来るついでに農作物も食べてしまうため、雑草を減らすことが重要です。

また、きてる!!

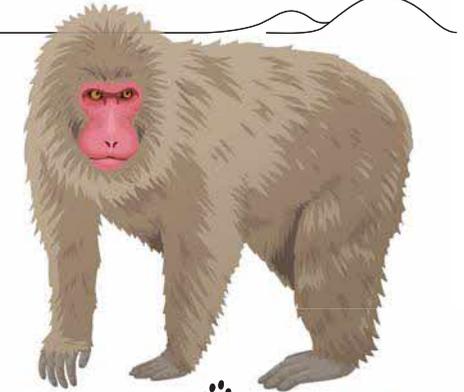
シカは大人しく落ち着いた動物で、ヒトを襲うことはほとんどありません。出会っても落ちついて対処しましょう。

人を襲ったりしないよ

ニホンザル

哺乳綱霊長目オナガザル科

- 【体 長】 オス53~60cm・メス47~55cm
- 【体 重】 オス10~18kg・メス8~16kg
- 【食 性】 雑食性。植物、葉、種子、果実、昆虫
- 【繁 殖】 メスは5~7歳頃から、1~3年に1頭出産する。栄養状態が良くなると、初産年齢が低くなり、毎年出産するようになる。出産時期は3~5月頃。



ニホンザルの足跡 ニホンザルの糞



ニホンザルの生態・習性・対策

屋根に上がる時に雨どいを壊したり、屋根に上って瓦をずらしたりすることがあります。

こたまりしちゃうよ

日の出から日の入りまで活動し、夜間は休息します。

zzzz

新しいものを警戒しますが、慣れると行動が大胆になります。

気にしない

数ミリの凹凸があれば壁などを登ることができます。

こんな壁カンタン!!

畑や果樹園の周りにかこいを作るとサルが来にくくなります。

中には入りづらいなー

近くに出没したら、大きな音が出るロケット花火などを使用し、追い払いましょう。

ハッ！

タヌキ

ネコ目イヌ科タヌキ属

- 【体 長】 40～60cm
- 【体 重】 3～10kg
- 【食 性】 雑食性。果実や昆虫、草本植物、昆虫、ミミズ
- 【繁 殖】 2月～4月に繁殖期があり、約2ヶ月の妊娠期を経て、春から初夏にかけて4～5頭出産する。

| | | | | | | | | | | | |
|----|--------------|----|--------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| | 繁殖期 (はんしょくき) | | 出産期 (しゅっさんき) | | | | | | | | |
| | 妊娠期 (にんしんき) | | | | | | | | | | |

目のまわりが黒いが、
両目の部分は
つながっていない



ひげが黒い



タヌキの足跡
指は4本で
イヌのあしあとに
足跡に似ている。



タヌキの糞

アナグマ

食肉目イタチ科アナグマ属

- 【体 長】 40～60cm
- 【体 重】 5～13kg
- 【食 性】 昆虫、カエル、モグラ、鳥、果実木の実、穀類
- 【繁 殖】 繁殖期は4～8月頃。一夫多妻、1～3頭出産する。

| | | | | | | | | | | | |
|-------------|----|--------------|----|--------------|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| 妊娠期 (にんしんき) | | 出産期 (しゅっさんき) | | 繁殖期 (はんしょくき) | | | | | | | |

耳は小さく先端が丸い

目のまわりの黒い部分が
たて方向にのびている

鼻先がつきでている



アナグマの足跡
指は5本で
つめがでている。



アナグマの糞

アライグマ

哺乳綱食肉目アライグマ科アライグマ属

- 【体 長】 40～60cm
- 【体 重】 6～8kg
- 【食 性】 魚、果実、木の実、昆虫や小動物、鳥の卵、トウモロコシ
- 【繁 殖】 主に1～3月に繁殖し、4～6月に3～6頭ほど出産する。

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|----|--------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| 繁殖期 (はんしょくき) | | 出産期 (しゅっさんき) | | | | | | | | | |
| 妊娠期 (にんしんき) | | | | | | | | | | | |

黒い鼻すじ

ひげが白い

目のまわりが黒く、
両目の黒い部分は
つながっている



アライグマの足跡
指は5本で
細長いつめが
でている。



アライグマの糞

見分け方

タヌキ
アライグマに似ているけど顔の真ん中の筋がない。

アナグマ
鼻が大きく耳が小さい。目の周りの黒は縦方向。

アライグマ
タヌキに似ているけど、顔の真ん中に黒い筋がある。

タヌキの生態・習性・対策

「ため糞」という特定の場所にフンをするという習性があります。



指の間に水かきがあり、泥地や水辺で歩行します。

沼地も平気!



体が通るくらいの穴を掘ることができます。



冬に備えて脂肪を蓄えるため、秋にしっかり食べて体重を増加させます。

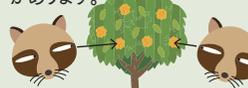
食べ過ぎた～!



生ゴミを放置しないことを心掛けましょう。



木登りは苦手ですが、低い位置に実った果実は狙われる可能性があります。



アナグマの生態・習性・対策

同じパターンの道を歩き、一度気に入った場所を何度も通ります。



下を向いた姿勢が基本で、目線の高さは10cm程度です。



木登りは苦手ですが、落ちた果実を狙ってやってきます。



家の床下などに棲みつくことがあります。

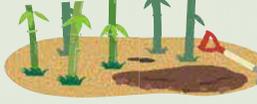


地中では巣穴が複雑につながっており、広範囲に移動します。



まるで迷路!!

掘られた穴は確実に塞ぎましょう。



アライグマの生態・習性・対策

大人のアライグマは力が強く、重い障害物も動かします。

わたくしには自信が



自ら巣を作らず、樹木や家の屋根裏、他の動物が作った巣に住み着きます。



顔さえ入れればどんな狭いところでも通り抜けることができます。



泳ぎや木のぼりが得意なので広範囲で移動します。



家の周りにひそみ場になりそうな場所をつくらないようにしましょう。



大人のアライグマは凶暴なので、出会ったら注意しましょう。



豆知識

「同じ穴の貉(ムジナ)」とは、無関係のように見えて実は同類・仲間であることを指すことわざです。ムジナとは、本当はアナグマの別名ですが、よく似ていることから、タヌキやアライグマのことを被害をもたらす同類の鳥獣として「ムジナ」と言うこともあるようです。

カラス (ハシブト・ハシボソ)

カラス科

- 【体長】(ハシブト)約56cm
(ハシボソ)約50cm
- 【体重】(ハシブト)約500~900g
(ハシボソ)約400~700g
- 【食性】雑食性。ごみ、果実、種子、小動物、昆虫、動物の死がい、鳥類の卵、ヒナ
- 【繁殖】繁殖期は2~7月。地上10~20mの高さの樹上や高圧鉄塔に、枯枝や針金などを使って巣を作り、3~6個の卵を産む。



| | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|--------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| | | | 繁殖期 (はんしよくき) | | | | | | | | |

◎カラスの生態・習性

視覚は鋭いが嗅覚は鈍く、匂いによる影響は少ないです。



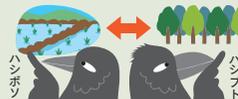
カラスの巣は木の上がメインだが広告塔や送電線などの人工物も利用します。



眠る時は数百~数千羽集まります。



ハシボソは田畑など開けた環境、ハシブトは樹木の多い環境を好む傾向があります。



卵は1日に1個産むと言われていて約20日で孵化します。



生ゴミ等を放置しないようにしましょう。



ヒヨドリ

ヒヨドリ科

- 【体長】25~29cm
- 【体重】66~100g
- 【食性】花、蜜、葉野菜、果実、昆虫
- 【繁殖】繁殖期は5月~9月。
地上1~5mの葉のよく茂った樹木の内側の枝に椀型の巣を作り、3~5個卵を産む。



| | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|--------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| | | | 繁殖期 (はんしよくき) | | | | | | | | |

◎ヒヨドリの生態・習性

南に渡って越冬するため、関東以南では、冬に個体数が多くなり、被害が多発します。



ヒヨドリはムクドリより灰色みが強く、尾が長いことが特徴です。



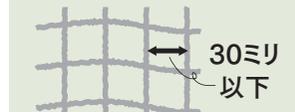
かんきつ類を食べる時は、果皮の厚くないものを狙ってちぎったり、つついたりして中身を食べます。



色や音で対策をする際は、慣れさせないように工夫が必要です。



防鳥ネットは網目が30ミリ以下のものを使用しましょう。



柑橘系やキャベツを生産している農家は特に警戒が必要です。



ヒドリカモ

カモ科

- 【体長】45~51cm
- 【体重】640~720g
- 【食性】植物質中心の雑食性。海草、海藻、物片、種子、河川敷周辺のシバ、青草
- 【繁殖】繁殖期は4~9月にかけてで、1回の産卵で10個以上の卵を産む。



| | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|--------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| | | | 繁殖期 (はんしよくき) | | | | | | | | |

◎ヒドリカモの生態・習性

餌を食べるのは主に夜間で、昼間はゆったりと過ごすことが多いです。



成長が早く、生後2ヶ月ほどで成鳥になります。



河川や湖沼などの水上にすることが多く、夜間に採食するため草地や農地などに飛来します。



カモ類による被害は、生息する河川や湖沼などの水辺に近いほ場で多く発生する傾向があります。



カモ類の食害により、苗が枯死するか、成長しても花やつぼみが正常に形成されない恐れがあります。



農地にテグスを張ることで、低コストでカモ類の侵入を防止できます。

